

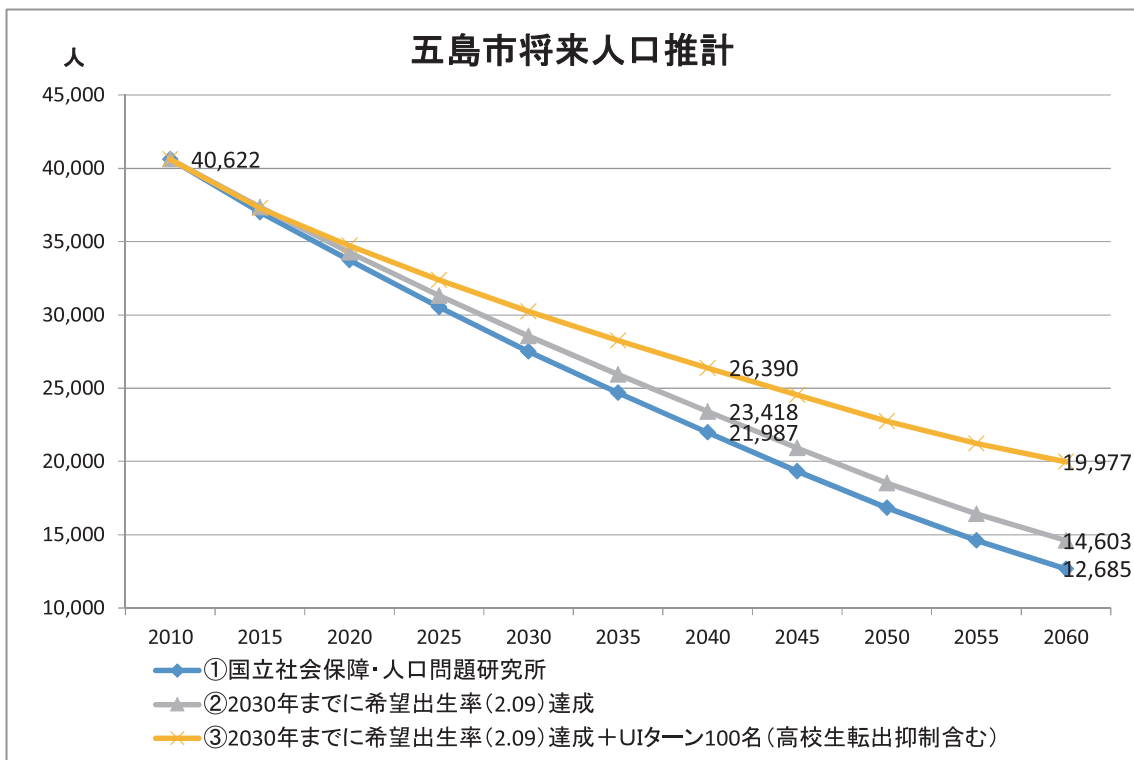
3.人口の将来展望

(1) 将来人口の推計と分析

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、五島市の人口は、2060年（H72年）で12,685人と2010年（H22年）の約30%まで減少すると推計されています。

今回の推計では、今後、五島市が進めていく人口減少対策の効果性・有効性を判断するため、出生率のみを高めた場合と、出生率を高めるのに併せ、UIターン者を増やした場合の推計を行いました。

結果として、若年層の市外転出による社会減少が顕著である五島市の人口減少を抑制するためには、出生率を高める対策のみでは効果は薄く、20代の早い段階のUIターン者を促進することで、2060年（H72年）において2万人程度の人口を確保できることがわかりました。



【図表 五島市将来人口推計の条件】

(単位：人)

パターン	2060年(人)	条件
①国立社会保障人口問題研究所	12,685	人口問題研究所の推計結果をそのまま採用。
②2030年までに希望出生率(2.09)達成	14,603	生残率や社会移動率は①と同様。合計特殊出生率をH26長崎県アンケート調査結果をもとに2030年に2.09まで高めるものと仮定した。
③2030年までに希望出生率(2.09)達成+UIターン	19,977	②に加え、年間100名のUIターン(*)が新たに実現すると仮定した。 *年間100名のUIターンとは、高校生アンケートの結果をもとに、高校3年生の15.9%相当(年間20~50人程度)の転出抑制又はUIターンと、高校生以外のUIターン。

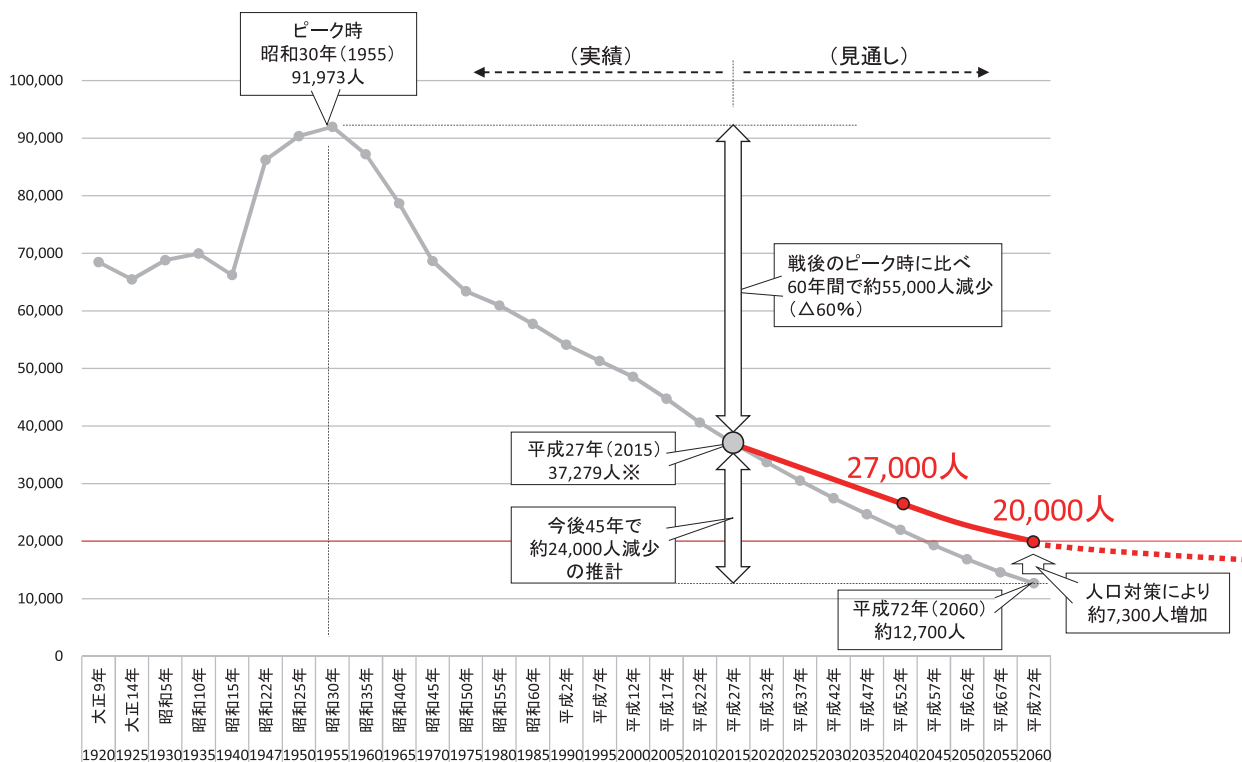
(2) 目指すべき将来の方向

今後、人口減少克服と地方創生を実現していくためには、出生率の向上や健康寿命を伸ばすことによる自然動態の改善と、定住人口の増加とU I ターンによる社会動態の改善により人口減少を抑制することが必要です。この視点から取り組むべき人口減少対策の方向性を次のとおり示します。

- 若い世代のための安定した雇用を創出し、高校卒業後の市内就職率の向上と島外へ転出した若者の20代～30代の早い時期でのU I ターンを促進する。
- 民泊での体験型観光をはじめ、世界遺産登録が見込まれる教会群など魅力ある地域資源を活用した観光ルートの開発を行い、交流人口の拡大につなげる。
- 若い世代が望む、結婚・妊娠・出産・子育てができる環境を整え、若い世代の移住促進と出生数の増加につなげる。
- 地域住民がともに支えあい、助け合いながら地域活性化に取り組み、健康で安心して住み続けられる地域社会を構築し、健康寿命の延長を図る。

(3) 目指すべき目標人口

上記の人口対策の効果により、五島市の人口を2040年（H52年）で2.7万人、2060年（H72年）で2万人を確保し、持続可能な社会・経済活動の維持を図ります。



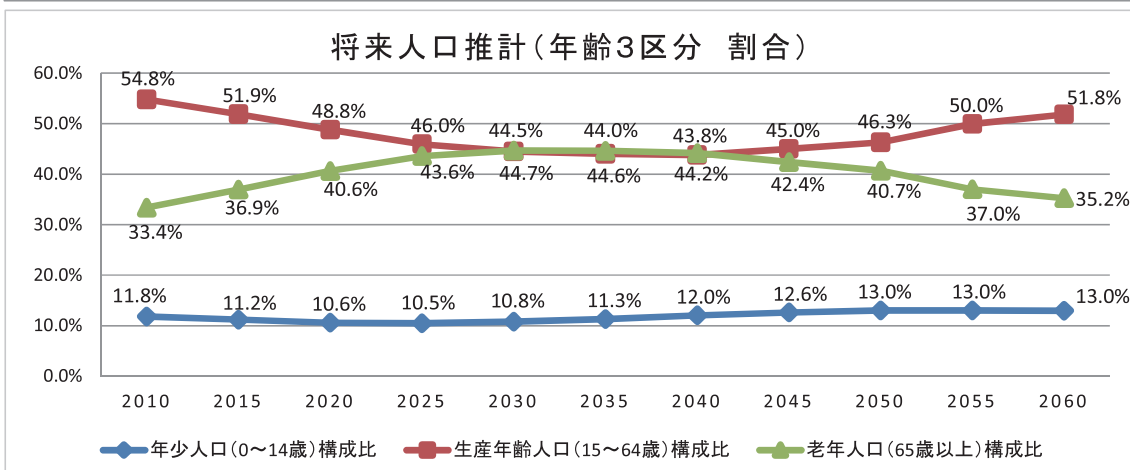
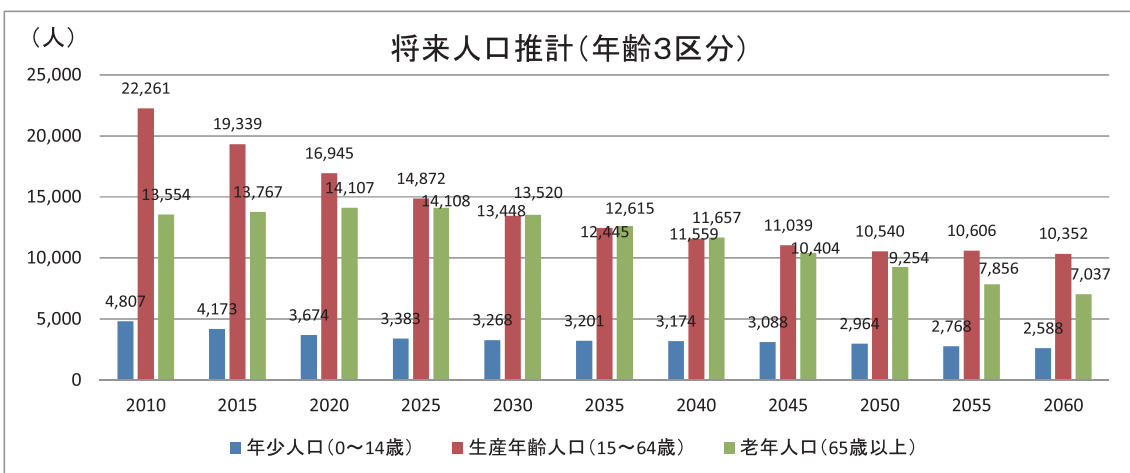
※平成27年人口は、平成27年10月1日現在の長崎県異動人口調査推計人口より

【年齢3区分別の推移】

総人口の年齢3区分別の推移について、目標を達成した場合と社人研が推計した場合とを比較すると、社人研の推計では2025年（H37年）に老年人口と生産年齢人口の割合が同じになり、その後、老年人口の割合が生産年齢人口の割合を上回りその差は拡大していきます。

一方、目標を達成した場合、2030年（H42年）に老年人口と生産年齢人口の割合が同じになり2045年（H57年）までその傾向が続くが、その後、生産年齢人口の割合は回復していきます。2060年時点で見ると、年少人口が約1,600人、生産年齢人口が約4,800人の人口減少が抑制され、将来的な人口増加、労働力の確保につながり、地域活性化に寄与するものと思われます。

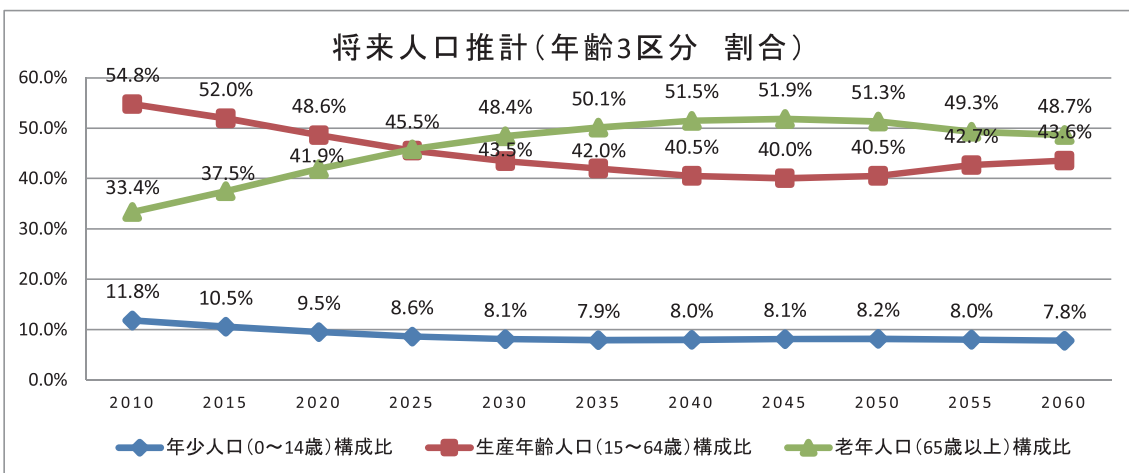
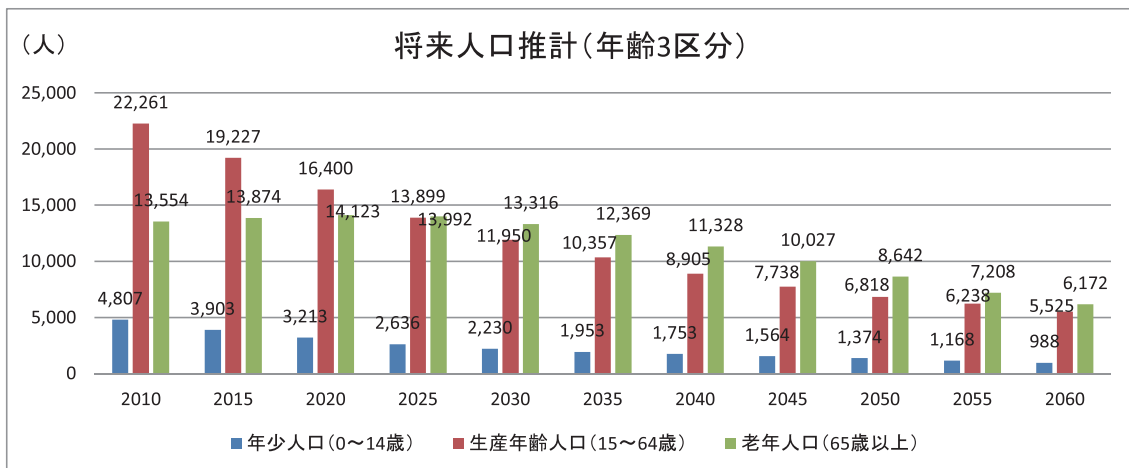
【目標を達成した場合の年齢3区分の推移】



(単位：人)

	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総数	40,622	37,279	34,726	32,363	30,235	28,262	26,390	24,531	22,758	21,231	19,977
年少人口(0~14歳)	4,807	4,173	3,674	3,383	3,268	3,201	3,174	3,088	2,964	2,768	2,588
生産年齢人口(15~64歳)	22,261	19,339	16,945	14,872	13,448	12,445	11,559	11,039	10,540	10,606	10,352
老年人口(65歳以上)	13,554	13,767	14,107	14,108	13,520	12,615	11,657	10,404	9,254	7,856	7,037
年少人口(0~14歳)構成比	11.8%	11.2%	10.6%	10.5%	10.8%	11.3%	12.0%	12.6%	13.0%	13.0%	13.0%
生産年齢人口(15~64歳)構成比	54.8%	51.9%	48.8%	46.0%	44.5%	44.0%	43.8%	45.0%	46.3%	50.0%	51.8%
老年人口(65歳以上)構成比	33.4%	36.9%	40.6%	43.6%	44.7%	44.6%	44.2%	42.4%	40.7%	37.0%	35.2%

【社人研が推計した年齢3区分の推移】



(単位：人)

	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総数	40,622	37,007	33,734	30,529	27,498	24,680	21,987	19,328	16,833	14,614	12,685
年少人口(0~14歳)	4,807	3,903	3,213	2,636	2,230	1,953	1,753	1,564	1,374	1,168	988
生産年齢人口(15~64歳)	22,261	19,227	16,400	13,899	11,950	10,357	8,905	7,738	6,818	6,238	5,525
老年人口(65歳以上)	13,554	13,874	14,123	13,992	13,316	12,369	11,328	10,027	8,642	7,208	6,172
年少人口(0~14歳)構成比	11.8%	10.5%	9.5%	8.6%	8.1%	7.9%	8.0%	8.1%	8.2%	8.0%	7.8%
生産年齢人口(15~64歳)構成比	54.8%	52.0%	48.6%	45.5%	43.5%	42.0%	40.5%	40.0%	40.5%	42.7%	43.6%
老年人口(65歳以上)構成比	33.4%	37.5%	41.9%	45.8%	48.4%	50.1%	51.5%	51.9%	51.3%	49.3%	48.7%

